

練馬区都市計画マスタープラン見直しに向けた
区民アンケート調査結果(概要)

平成 24 年(2012 年)12 月

練馬区

1. 実施概要

(1) 調査期間

平成24年9月14日～10月12日

(2) 対象

20才以上の区民から無作為抽出

(3) 配布数

3000票

(4) 回収数(回収率)

885票(29.5%)

(5) アンケートの構成

- ア 回答者の属性(性別・年齢・住んでいるまち・普段利用する駅)について質問
- イ 都市計画マスタープランの「めざすまちとまちづくりの方針」に関連する問1から問23までの23の設問を設定し、それぞれ4択による回答および自由意見の記入欄を設定
- ウ 最後の問24に「その他、練馬区のまちやまちづくりに関する要望」の自由記入欄を設定

(6) 回答結果の概要

回答者の属性

- ・男性(43%)よりも女性(56%)の回答者が多い。年齢は20歳代がやや少なく、他の年代はほぼ同じ割合となっている。

街のにぎわいや楽しさについて

- ・買い物環境は全体的には便利とする回答が多いが、「近くにスーパーがない、遠い」という意見もある。また、「商店街の減少」や「個人店の減少」を心配する意見がある。
- ・レクリエーション施設は「足りない」とする人が多く、「レジャー施設や大きな公園がほしい」という意見がある。

電車やバス、自動車などの利用しやすさ

- ・電車の利便性に対する評価は高いが、「西武新宿線の立体化」「大江戸線の早期延伸」などの要望が寄せられている。
- ・自転車は、「駐輪場の少なさ」「道路幅員の狭さ」「自転車レーンの少なさ」を問題とする意見が寄せられている。

道路の歩きやすさや快適性について

- ・「歩道と車道の段差」「ガードレールが少ない」「抜け道道路として、生活道路が利用される」「電柱など障害物が多い」などの理由から「歩きにくい」とする回答がある。

地域の安全・安心について

- ・地震対策、都市型水害対策、災害時の避難や救助などに関して、取り組みの認知度が低く、個別対策と合わせて、積極的な情報提供を求める意見が多い。
- ・防犯対策については、「街路灯が少ない」「防犯パトロールの強化が必要」などの意見が寄せられている。

地域の自然環境について

- ・自然環境については満足、普通とする回答者が多い。ただし、近年みどりが減っているという意見も多い。

地域の住環境や景観について

- ・満足、普通の回答者が多いが、住宅地の付近に建てられる高層マンション、空き家への対応を求める意見が寄せられている。景観については、電線の地中化や屋外広告物規制を求める意見がある。

地域の公害防止や省エネルギー対策

- ・公害防止や省エネ対策については、おおむね「普通」とする回答者が多い。公害防止の取り組みについては、排ガス、騒音、光化学スモッグ対策を求める意見が見られる。

地域の暮らしや環境について

- ・一般的に取り組みに対する認知度が低い。健康福祉サービス、子育て環境づくりに関して、幅広い意見が寄せられている。

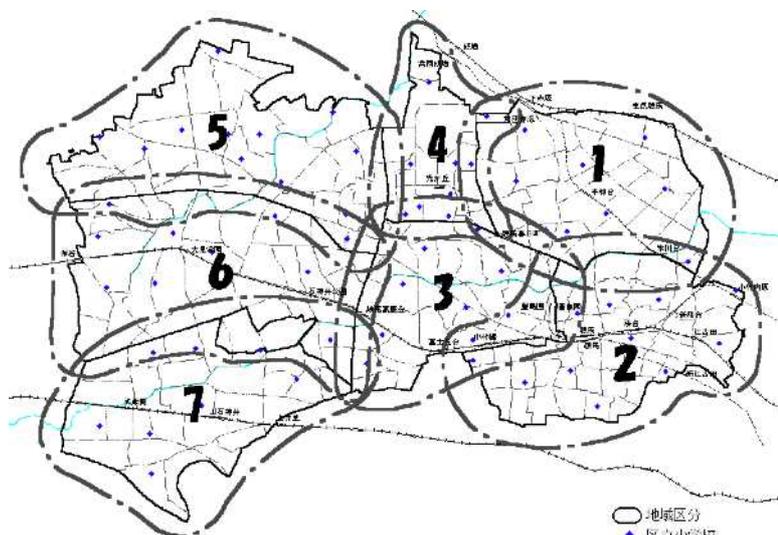
その他 練馬区のまちやまちづくりに関する要望等(自由意見)

- ・上記に関する意見のほか、都市計画マスタープラン、市街地環境、区政への要望、広報・情報提供、マナーなどについてさまざまな意見が寄せられている。

地域区分詳細

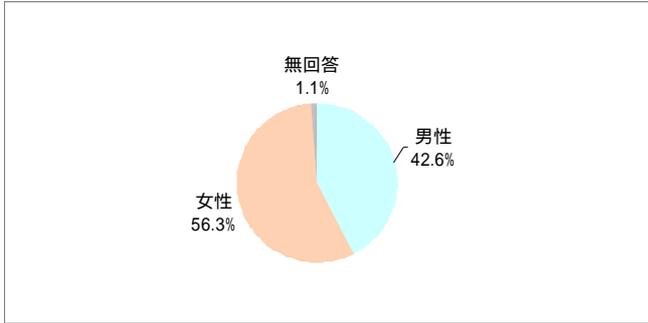
アンケートにおける地域区分は、都市計画マスタープランの地域別指針の7つの地域区分に従っています。

第1地域	錦、氷川台、平和台、早宮、春日町、北町、田柄
第2地域	旭丘、小竹町、栄町、羽沢、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村北、中村、中村南、桜台、練馬
第3地域	向山、貫井、高松、富士見台、南田中
第4地域	光が丘、旭町
第5地域	土支田、谷原、西大泉、大泉町、大泉学園町、西大泉町
第6地域	高野台、三原台、石神井町、東大泉、南大泉
第7地域	石神井台、上石神井、上石神井南町、下石神井、立野町、関町東、関町南、関町北



(6) 回答結果

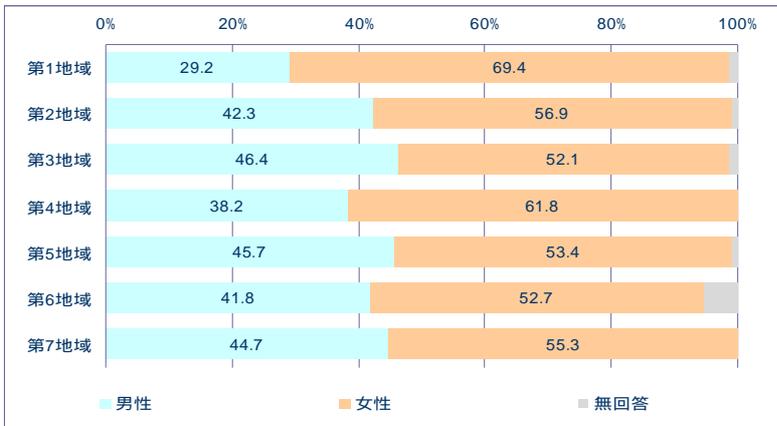
A 性別



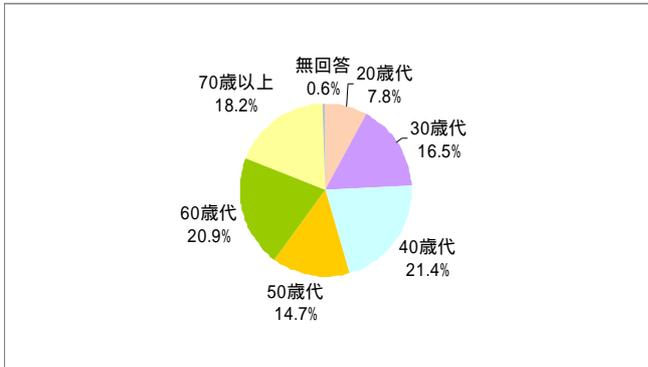
男性が 42.6%、女性が 56.3% で女性のほうがやや回答者が多い。

地域別で見ると第 1 地域および第 4 地域で男性の回答者が少なくなっている。

地域別

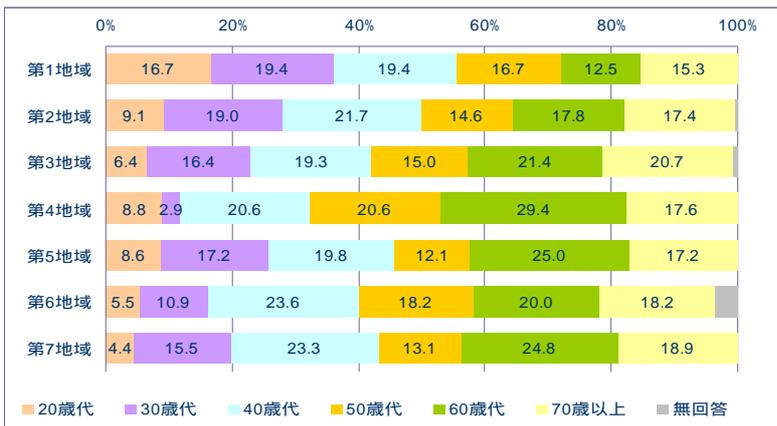


B 年齢

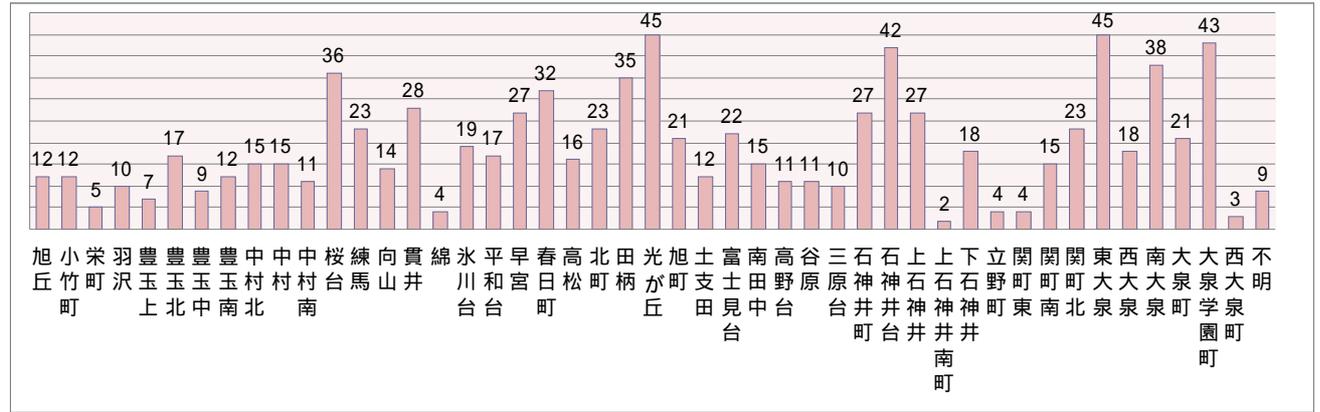


20 歳代以外はほぼ同じ割合で回答している。地域別に見ると、第 1 地域は比較的若い世代の割合が多い。一方、第 4 地域は 60 歳以上の回答が約 5 割となっている。

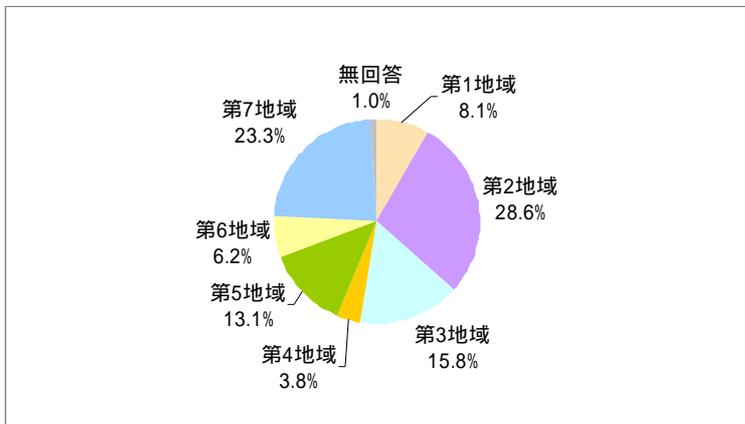
地域別



C 居住地 (単位:人)

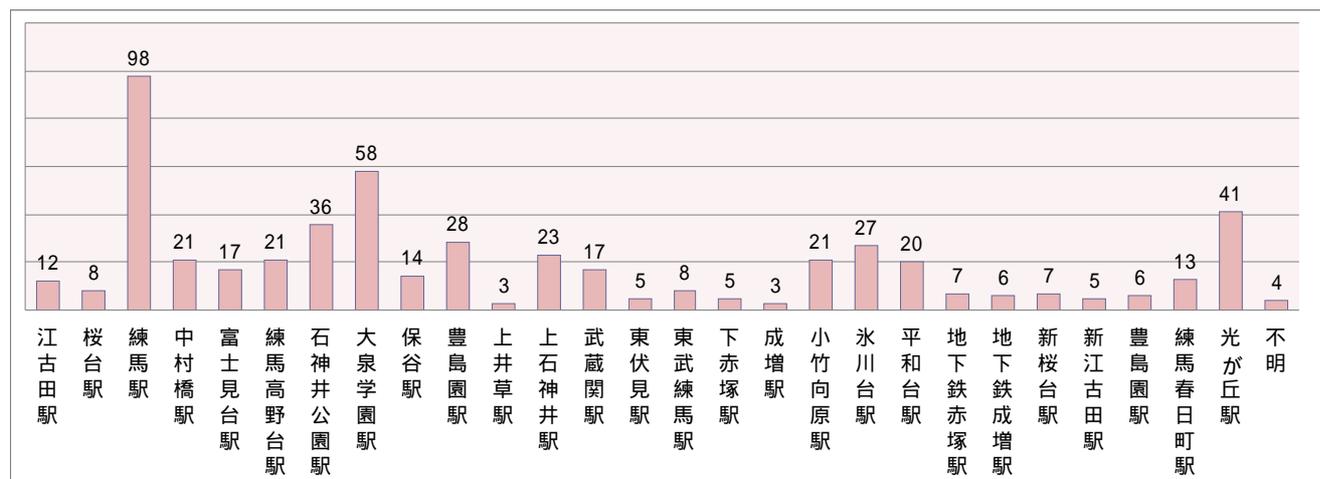


地域別



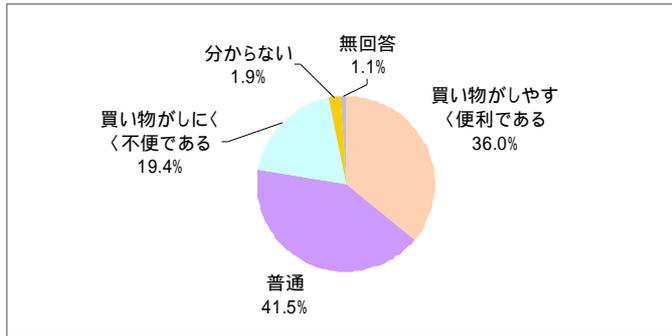
注 地域区分は P.3 を参照

D 普段利用する駅 (単位:人)

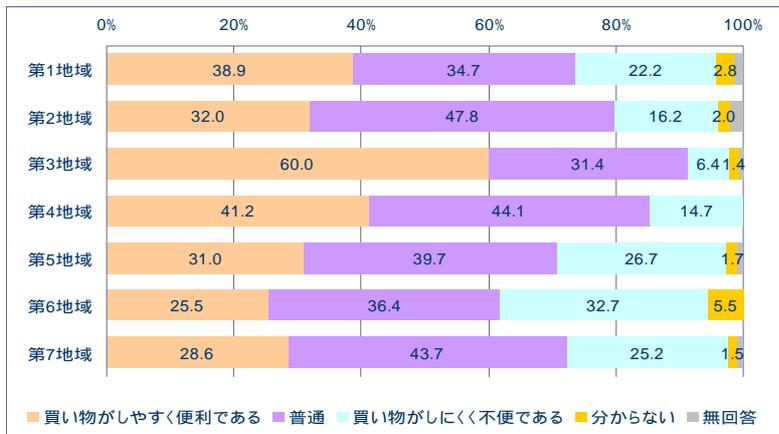


街のにぎわいや楽しさについて

問1 駅前や商店街での買い物のしやすさ・便利さの評価



地域別



問1 普段利用する駅前や商店街での買い物のしやすさ・便利さについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。(1つだけ)

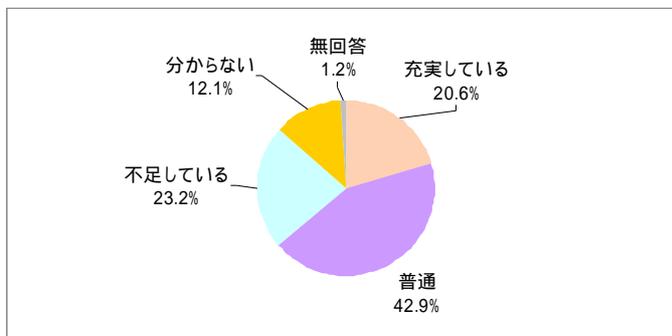
全体的には、77.5パーセントが「便利」「普通」と評価している。

一方、第6地域では「不便」との回答者が3割以上いるなど、地域によって評価が異なっている。

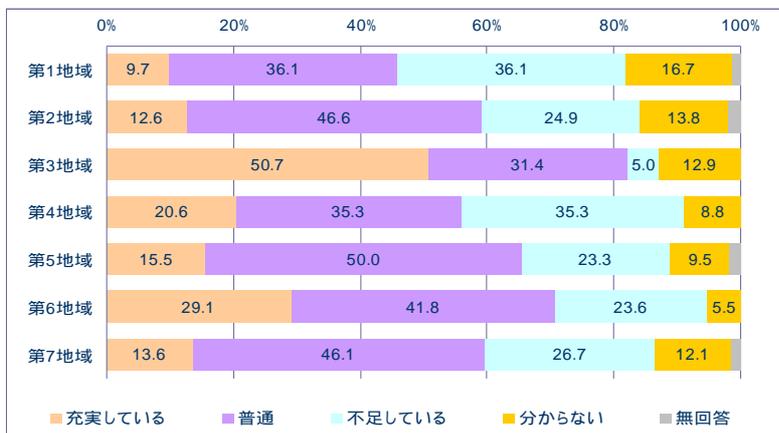
具体的には「自宅の近くに店が少ない」「個人商店の数が少ない」「商店街の元気がない」などの回答が寄せられている。

また、「スーパーがもっとあると便利」という意見がある一方、「小売店に頑張ってほしい」との声もあった。

問2 レクリエーションのために過ごす場所への評価



地域別



問2 身近な地域でレクリエーションのために過ごす場所（例えば：レジャー施設、公園、観光農園等）が充実しているかについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。(1つだけ)

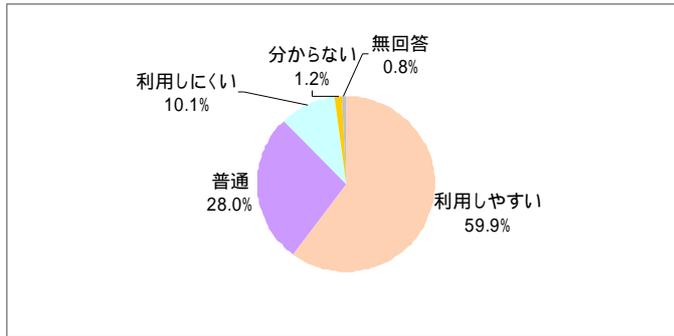
全体的には「充実している」「普通」合わせて、63.5パーセントとなっている。

地域別に見ると、第3地域では、半数以上が「充実している」と回答している。

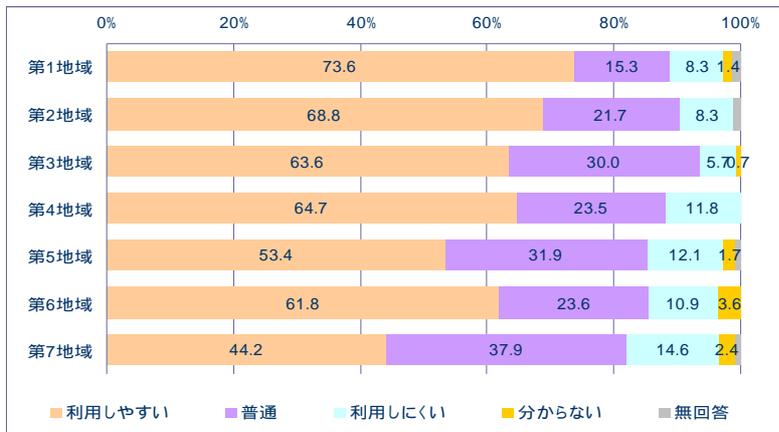
具体的には「レジャー施設が少ない」「大きな公園がない」などの意見が寄せられている。また、スポーツや運動に関する施設への要望もあった。

電車やバス、自動車などの利用しやすさ

問3 鉄道の利用しやすさへの評価



地域別



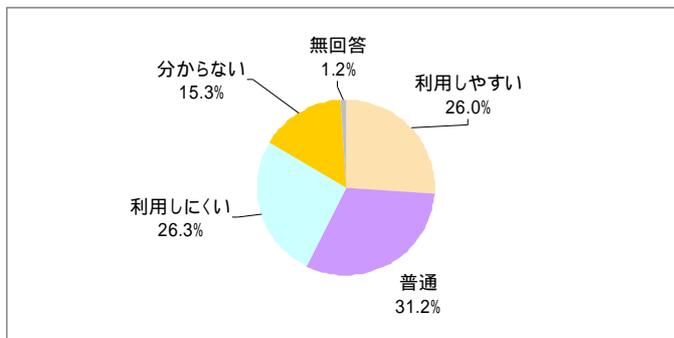
問3 鉄道の利用しやすさ（例えば：利用する鉄道の本数や路線の便利さ等）について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号にをつけてください。（1つだけ）

「利用しやすい」「普通」という回答が合わせて87.9パーセントと多くなっている。

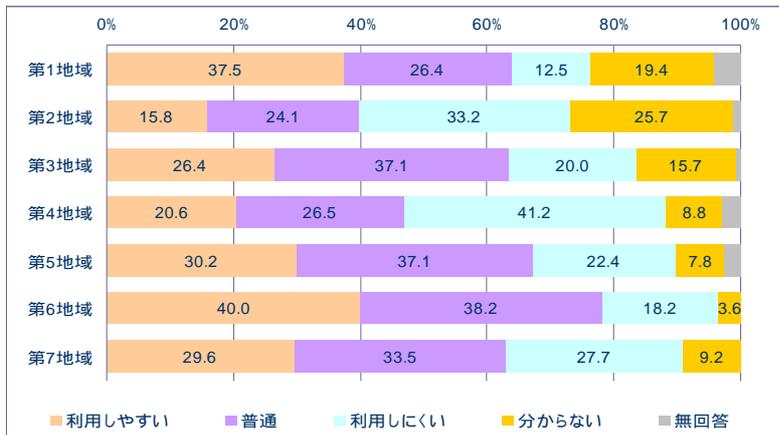
一方、第5地域、第7地域は「利用しやすい」と評価する回答者が他の地域より少ない。

具体的には「西武新宿線の踏切がなくなり、高架になってほしい」「大江戸線を早く延伸してほしい」などの意見が寄せられている。

問4 バスの利用しやすさへの評価



地域別



問4 バスの利用しやすさ（例えば：利用するバスの本数や路線の便利さ等）について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号にをつけてください。（1つだけ）

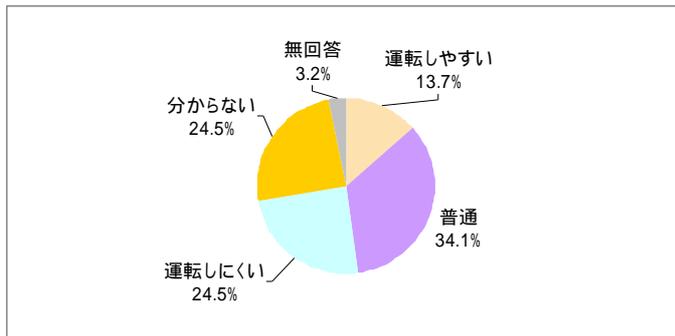
「利用しやすい」「普通」という回答が合わせて57.2パーセントとなっている。

第2地域や第4地域では、「利用しにくい」とする回答が他の地域より多い。

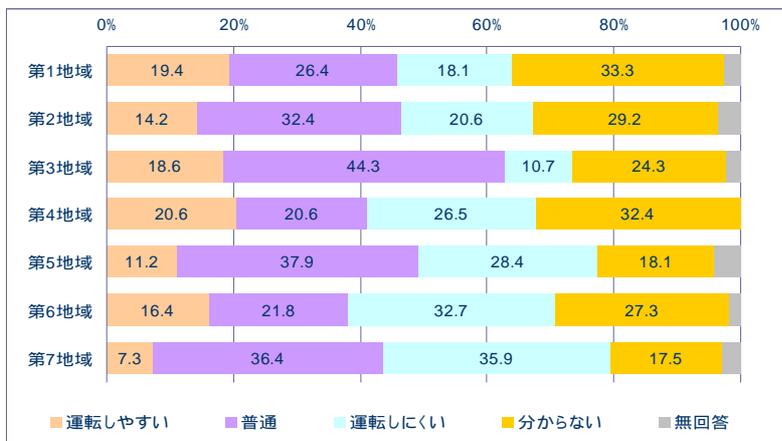
具体的には「バスの本数が少ない」「路線が少ない」「渋滞が多くて時間が読めない」などの意見が寄せられている。

コミュニティバスが便利との意見もあった。

問5 自動車の運転しやすさへの評価



地域別

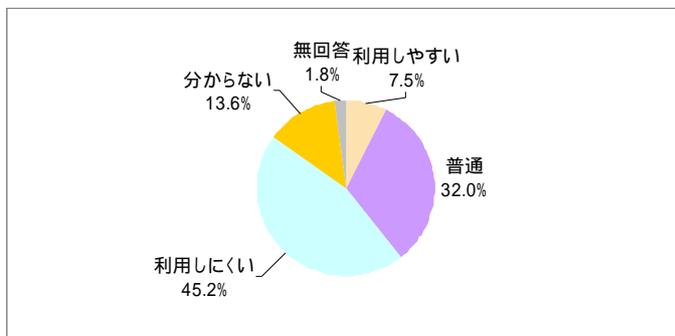


問5 自動車の運転しやすさ（例えば：道路が渋滞しない、幹線道路が整備されている等）について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

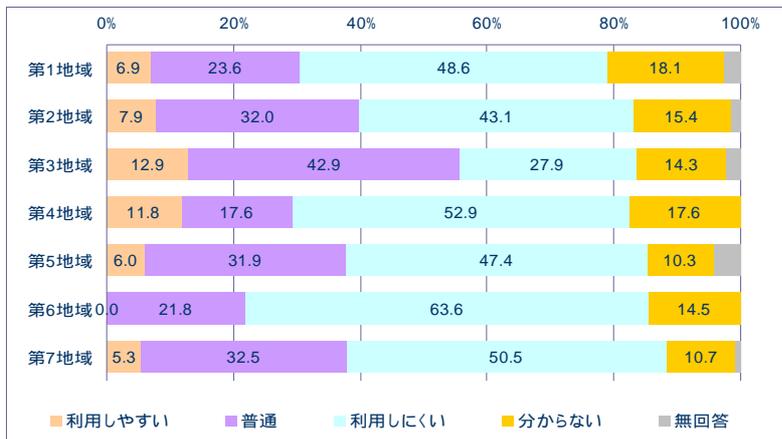
全体的には、「運転しやすい」と「普通」合わせて半数近い。その一方、「運転しにくい」と「わからない」との回答が同数ある。特に第4地域～第7地域で「運転しにくい」とする回答者が多い。

具体的には、「環状七号線、環状八号線の渋滞がひどい」「道路が狭く走りにくい」「道路が渋滞している」などの意見が寄せられている。

問6 自転車の利用しやすさへの評価



地域別



問6 自転車の利用しやすさ（例えば：道路が走りやすい、自転車用レーンがある、駐輪場に止めやすい等）について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

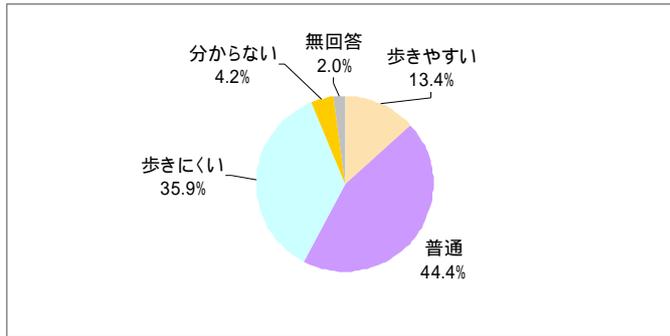
「利用しやすい」「普通」が、合わせて約40パーセントとなっている。

「利用しにくい」との回答が、第4地域、第6地域、第7地域では、他の地域に比べ多い。

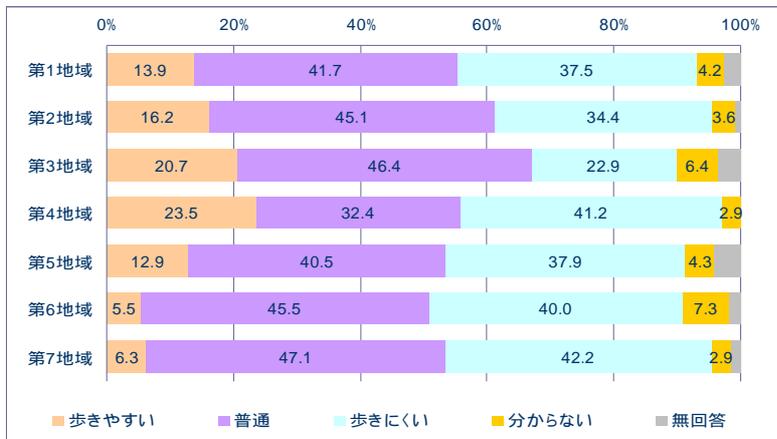
具体的には、「駐輪場が少ない」「道路が走りにくい」などの意見が寄せられている。また「自転車に乗る人のマナー」を指摘する意見も数多くあった。

道路の歩きやすさや快適性について

問7 歩いて移動しやすいまちづくりへの評価



地域別



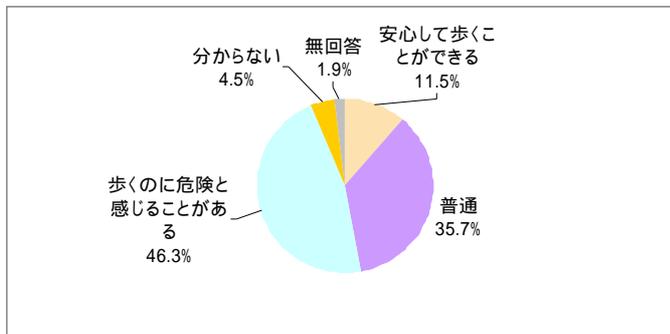
問7 「歩道を整備する」「道路の段差を少なくする」等と合わせて、「公共施設等にエレベーターを設置する」等、「歩いて移動しやすいまちづくり」に取り組んでいます。あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。(1つだけ)

全体的には「歩きやすい」「普通」とする回答が57.8パーセントと多いが「歩きにくい」という回答も見られた。

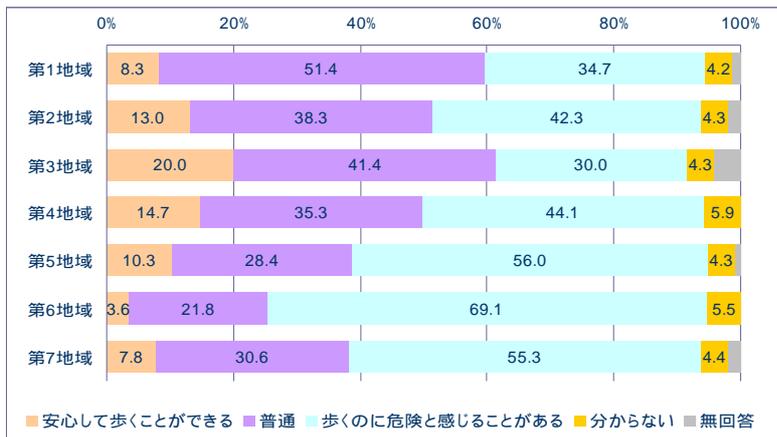
具体的には「歩道と車道の段差がある」「電柱など障害物が多い」「歩道が少ない」などの意見が寄せられている。

駅のエレベーター設置等バリアフリー化を評価する声もあった。

問8 交通安全に関する取り組みへの評価



地域別



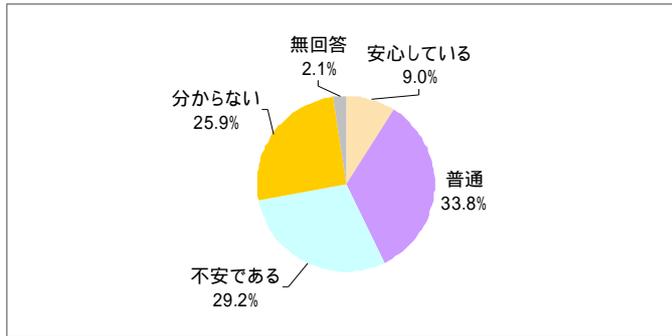
問8 「ガードレール等で歩行者の歩く場所と自動車の通る場所を分ける」、「交通安全に関する情報をお知らせする」等、さまざまな交通安全に関する取り組みをしています。あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。(1つだけ)

「安心して歩くことができる」と「普通」が合わせて半数近くある。一方「歩くと危険と感ることがある」との回答もあり、特に第5地域～第7地域で多い。

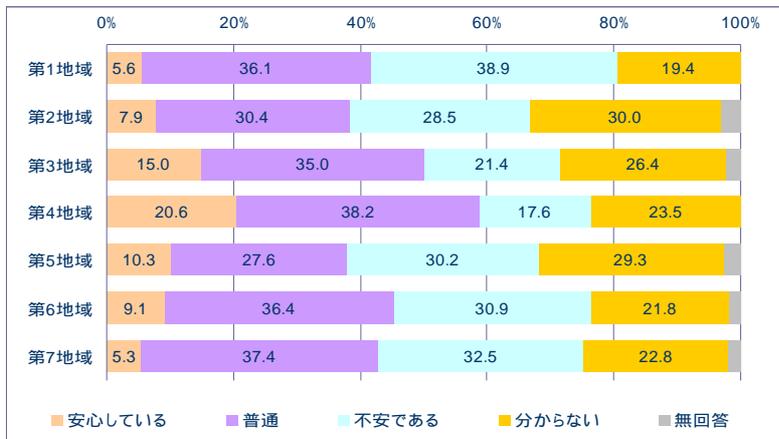
具体的には、「自転車(自動車)と歩行者の区分が必要」「幹線道路の抜け道として生活道路が車に利用される」などの意見が寄せられている。「自転車のマナーの向上が必要」とする意見が多かった。

地域の安全・安心について

問9 地震対策への評価



地域別

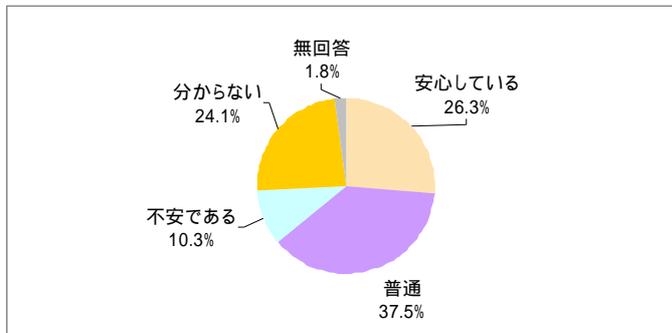


問9 「地震や火災に強い建物づくり」や、「火災が燃え広がるのを防ぐためのオープンスペースや道路の確保」等、地震が起きた時に人や建物への被害を最小限にするための対策を実施しています。その対策について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

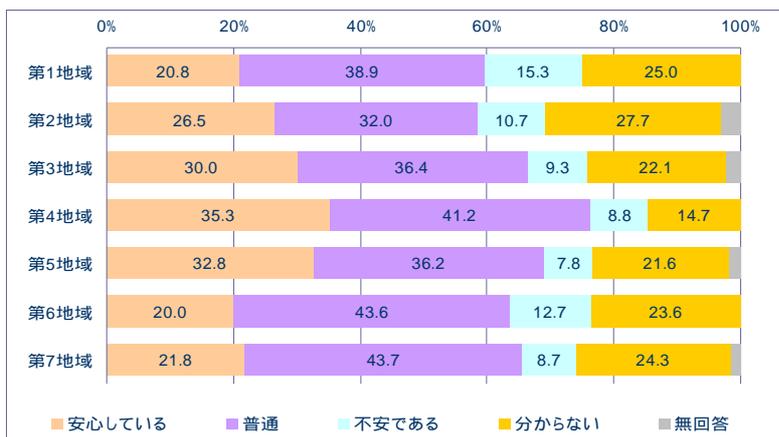
「安心」「普通」が42.8パーセントになっている。「不安」が29.2パーセント、「分からない」とする回答が25.9パーセントある。

具体的には、「オープンスペースが不足している」「避難場所が遠い」「どんな施策が行われているかわからない」などの意見が寄せられている。「災害に強いまちづくりをしてほしい」との要望もあった。

問10 都市型水害への対策



地域別

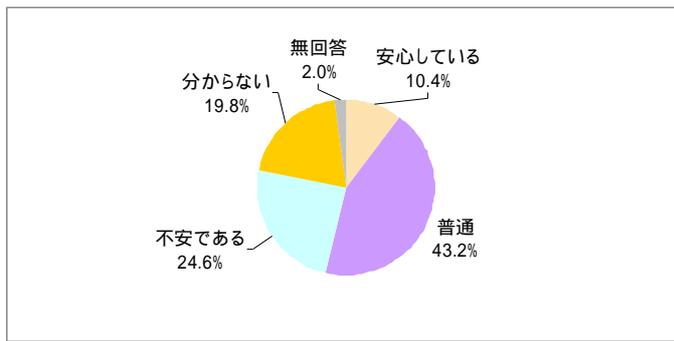


問10 台風や豪雨による都市型水害が起きた場合への備えとして、「河川の改修工事や貯水池の整備」、「水が浸み込みやすい道路整備」等を実施し、水が溢れるのを防ぐ取り組みをしています。その対策について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

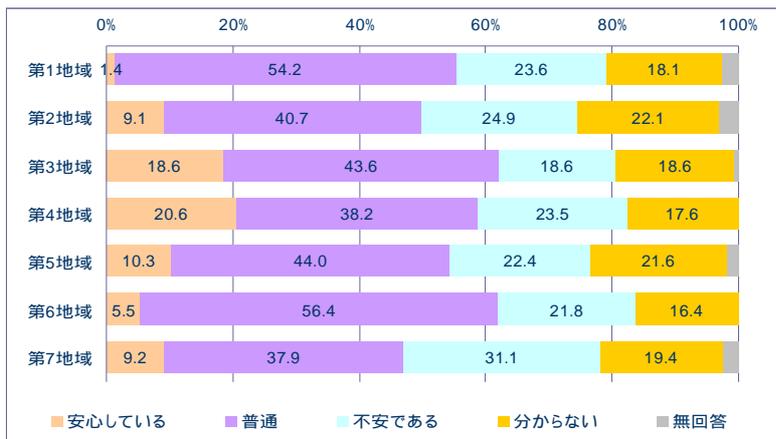
「安心している」「普通」合わせて、63.8パーセントとなっている。一方、「分からない」との回答が約24パーセントある。

具体的には、「治水対策の取り組みを知らない」「石神井川の氾濫が心配」などの意見が寄せられている。

問 11 災害時の避難や救助、復旧の事前の準備



地域別

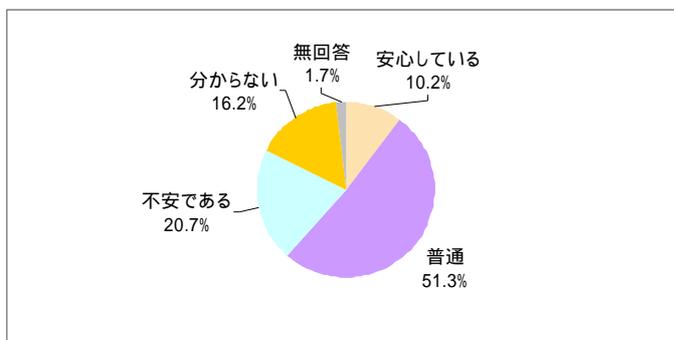


問 11 災害が起こった時に被害を最小限にするため、事前に「避難拠点（避難場所・情報拠点を兼ねる）の指定」や「避難訓練」、「災害に関する情報の提供」等を実施しています。避難や救助、復旧の事前の準備について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号にをつけてください。（1つだけ）

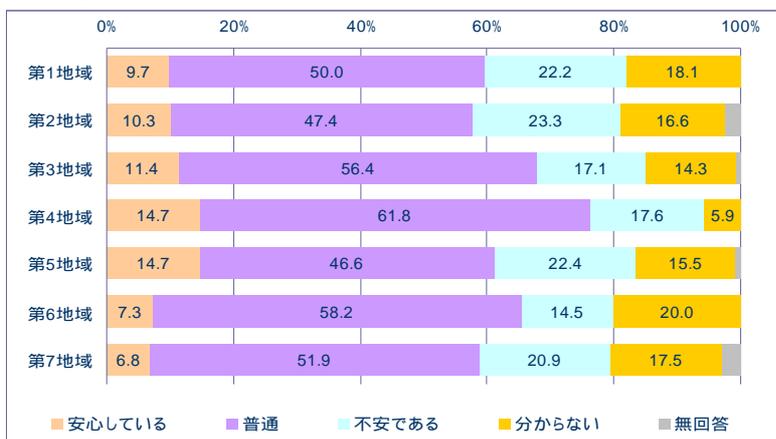
「安心」「普通」合わせて、50パーセントを超えているが、「不安」という回答も多い。また、「分からない」とする回答が約20パーセント見られる。

具体的には、「災害対策の取り組みがわからない」「避難場所を知らない」「避難場所で何をしてもらえるのかわからない」「情報提供や避難訓練を定期的にしてほしい」などの意見が寄せられている。

問 12 防犯対策



地域別



問 12 安全で安心なまちづくりのためには、防犯対策も重要です。お住まいの周辺（自宅付近やよく行く場所）等での防犯対策について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号にをつけてください。（1つだけ）

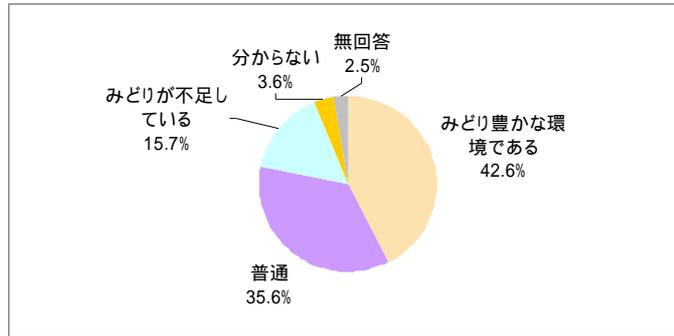
「安心」「普通」合わせて61.5パーセントとなっている。一方、「不安」との回答も約20パーセントある。

具体的には、「街路灯が少ない」「防犯パトロールの強化が必要」などが寄せられている。

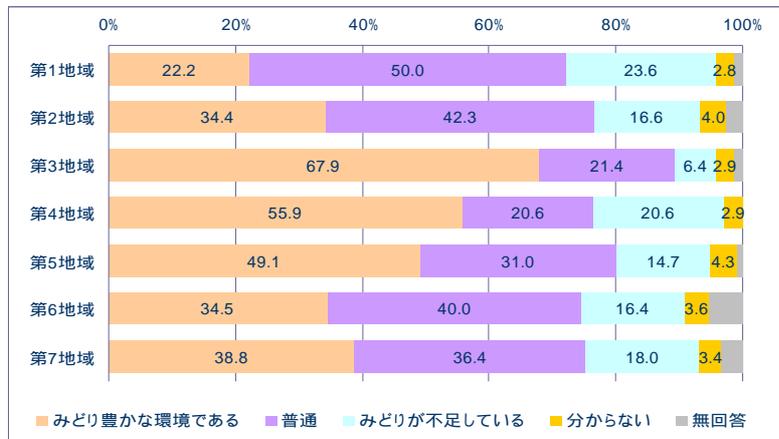
「治安をよくして子供たちが安全に暮らせるまちにしてほしい」との意見もあった。

地域の自然環境について

問 13 みどりを豊かにするための取り組み



地域別



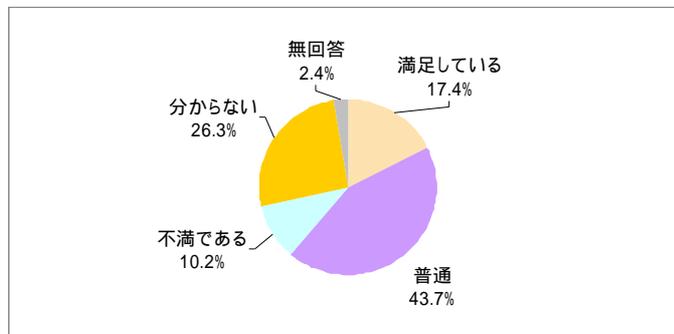
問 13 区では、「みどりあふれるまちづくり」を進めています。そのため、「公園や緑地を整備する」、「道路へ街路樹を植える」等、みどりを豊かにするための取り組みをしています。あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

「豊かである」「普通」合わせて78.2パーセントと多くなっている。

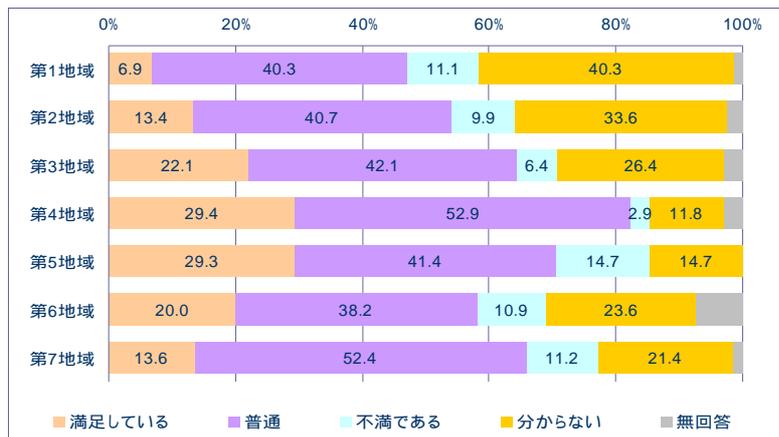
第1地域では「みどりが豊か」の回答が全体を下回っている。逆に第3地域、第4地域、は「みどりが豊か」の回答が半数以上となっている。

具体的には、「街のみどりが減っている」、「緑あふれるまちにしてほしい」などの意見が寄せられている。

問 14 水に親しめる空間づくり



地域別



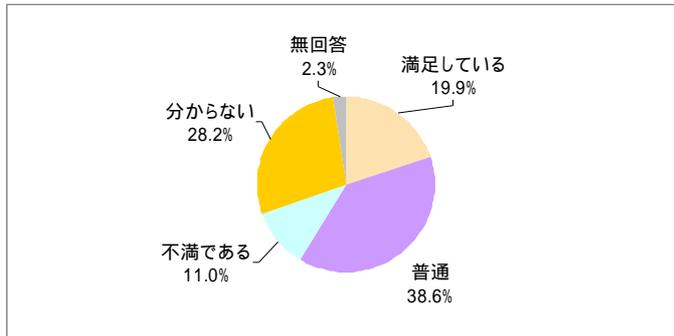
問 14 区内にある石神井川と白子川の水質を浄化するための取り組みや、公園に池を作ること等を通して、まちの中でも水に親しめる空間づくりを実施しています。水辺とのふれあいができる環境について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

「満足」「普通」合わせて61.1パーセントとなっている。

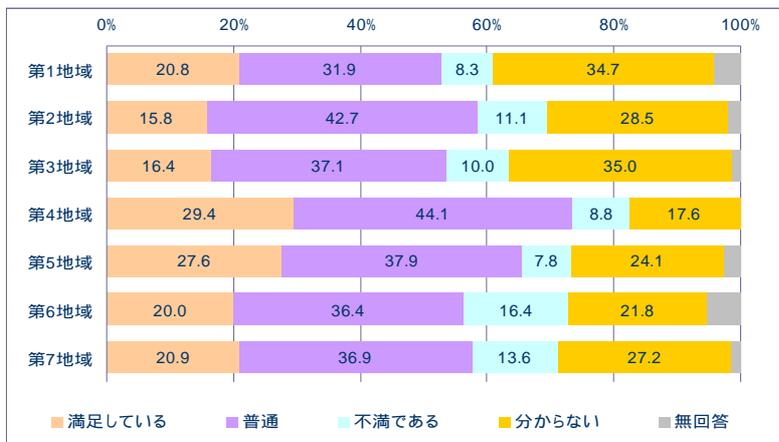
その反面、「分からない」との回答が26.3パーセントと取り組みが伝わっていない側面が見られる。

具体的には、「水に親しめる空間が近くにない」「水質が不安」などの意見が寄せられている。

問 15 農地を残すための取り組み



地域別



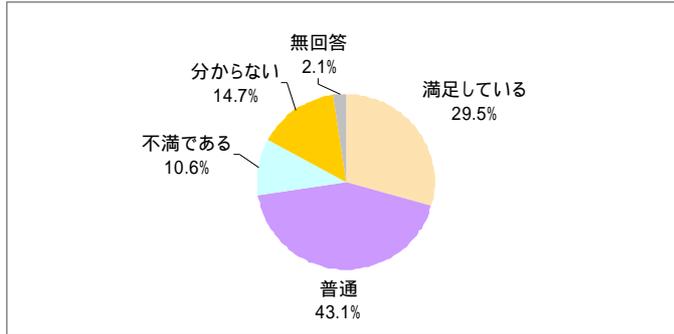
問 15 農地は、まちの中に貴重なみどりを提供する等、本来の役割のほかにもさまざまな役割をもっています。そのため、区では農地を残すための取り組みを進めています。その取り組みについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。(1つだけ)

「満足」「普通」合わせて約60パーセントとなっている。「分からない」との回答が約28パーセントあり、取り組みが伝わっていない側面が見られる。

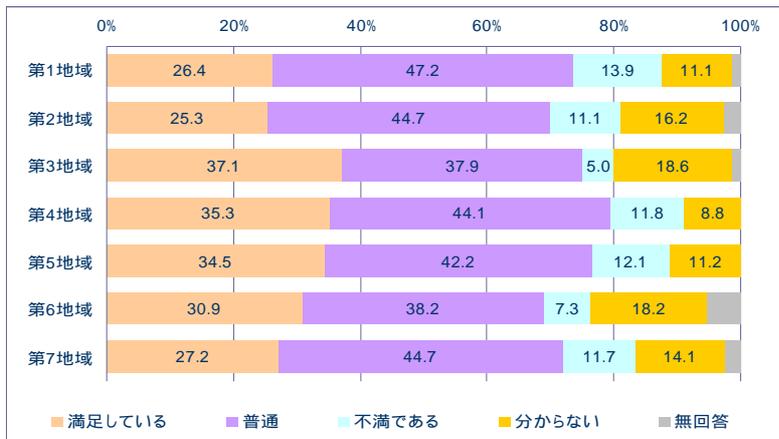
具体的には、「どんな対策をしているかわからない」「農地が減っている」「農地を残してほしい」などの意見が寄せられている。

地域の住環境や景観について

問 16 日当たりや風通し等を確保するための取り組み



地域別

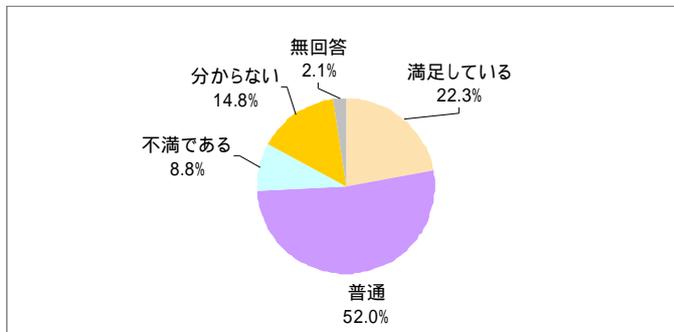


問 16 住まいの日当たりや風通し等を確保するため、建物等を建築する際の「高さの制限や敷地面積の制限」、建てられる建築物の種類を制限する「用途地域の指定」等を行っています。その取り組みについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。(1つだけ)

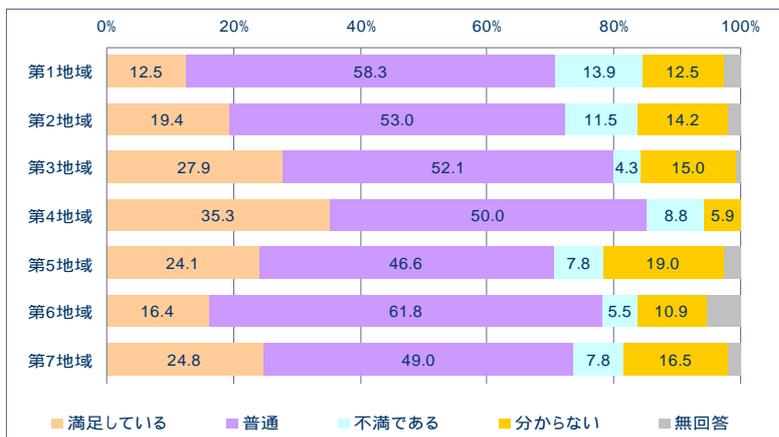
「満足」と「普通」合わせて約72パーセントで、地域別に見ても同じ傾向となっている。

具体的には、「高層マンションによる通風や日当たりが気になる」(第2地域)、「用途地域の規制を厳しくするか、望ましい規制をできる仕組みが必要」(第3地域)などの意見が寄せられている。

問 17 良好な景観の形成を目指す取り組み



地域別



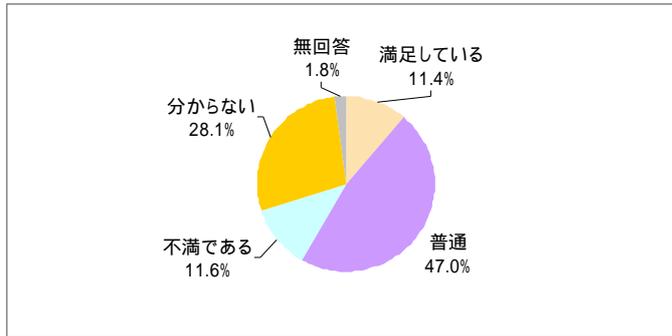
問 17 良好な景観の形成を目指し「大きな建物に使える色の制限をする」、「看板を設置するときのルールを決める」、また「ボランティア清掃活動の支援をする」等の取り組みを進めています。お住まいのまちの景観について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。(1つだけ)

全体では、「満足」「普通」合わせて約75パーセントとなっている。一方、第1地域、第2地域、第6地域では「満足」とする回答者の割合が全体に比べ低い。

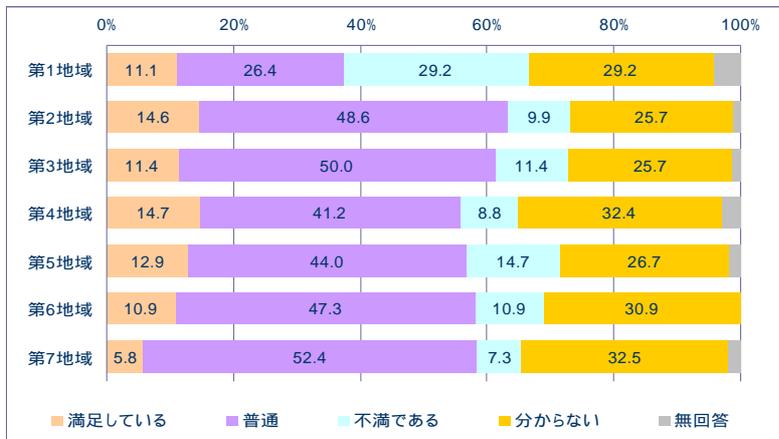
具体的には、「電線の地中化をすすめてほしい」「景観のルールが区内に浸透していない」「すっきりしたまちなみにしてほしい」などの意見が寄せられている。

地域の公害防止や省エネルギー対策について

問 18 公害防止の取り組み



地域別

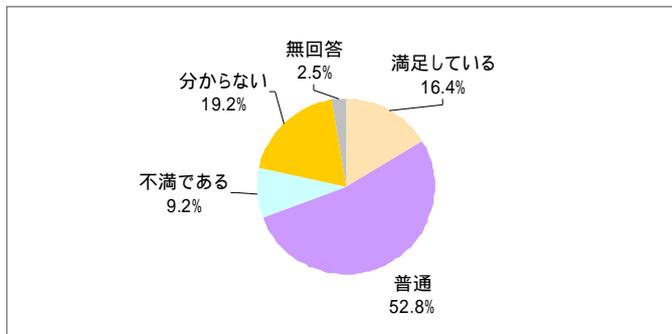


問 18 「交通量の多い幹線道路沿道の騒音を抑える」、「工場等からの公害の発生を防ぐ」、「大気汚染や有害化学物質汚染を防ぐ」等、健康と生活環境を守る「公害防止」のための取り組みについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。（1つだけ）

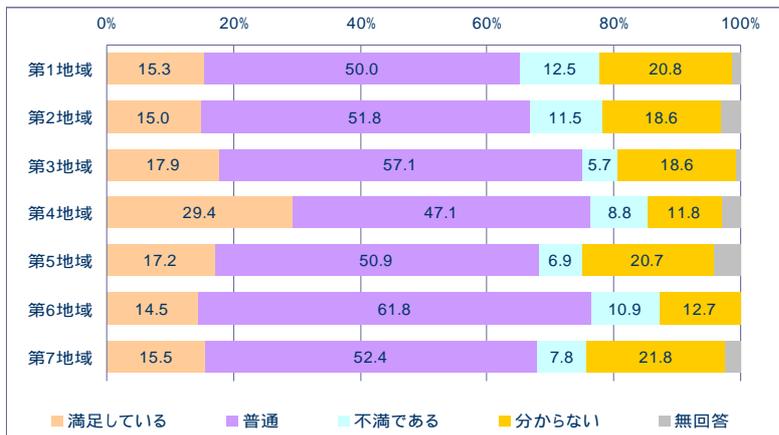
「満足」「普通」合わせて約 60 パーセントとなっている。一方、「分からない」との回答も 28 パーセントあり、取り組みが伝わっていない側面が見られる。

具体的には、「どんな対策をしているかわからない」「環状 7 号や目白通りなど幹線道路の排ガス、騒音が迷惑」「光化学スモッグの発生回数が多い」などの意見が寄せられている。

問 19 循環型のまちづくりを目指す取り組み



地域別



問 19 「資源のリサイクル」、「ゴミの減量」、「太陽光発電システムの設置」等環境に配慮した「循環型のまちづくり」を目指す取り組みについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号に をつけてください。（1つだけ）

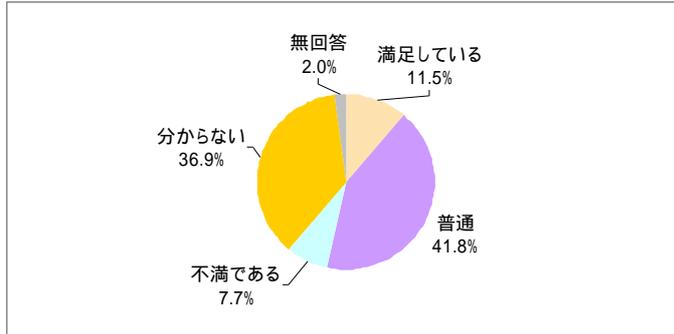
約 70 パーセントが「満足」「普通」と回答している。

一方、「分からない」との回答も約 20 パーセントあり、取り組みが伝わっていない側面が見られる。

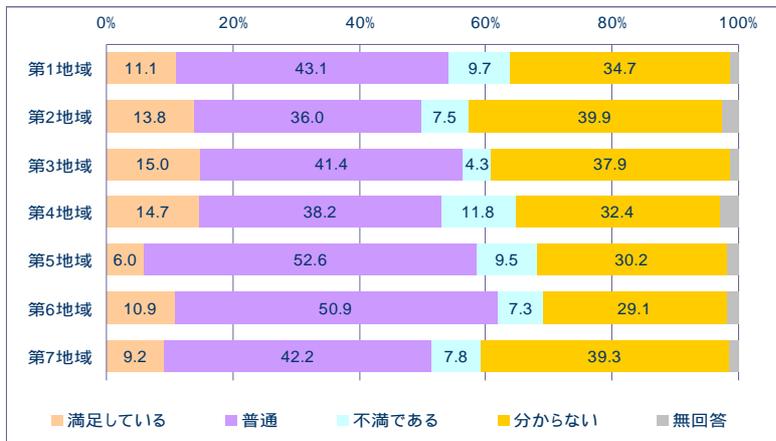
具体的には、「リサイクルをもっと推進してほしい」との意見がある一方、「どんな対策をしているかわからない」という意見もあった。「太陽光発電システムを普及させてほしい」などの意見も寄せられている。

地域の暮らしや環境について

問 20 地域の交流



地域別



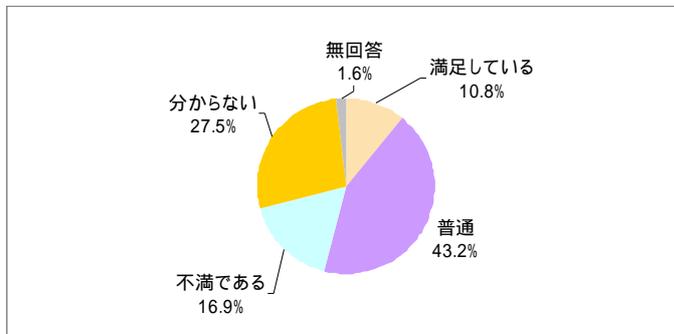
問 20 「地域のボランティアの方が交流する場をつくる」、「公共施設や小学校、公園等を利用しての地域の交流を育む」等の取り組みをしています。地域の交流について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。(1つだけ)

「満足」と「普通」合わせて53.3パーセントある。

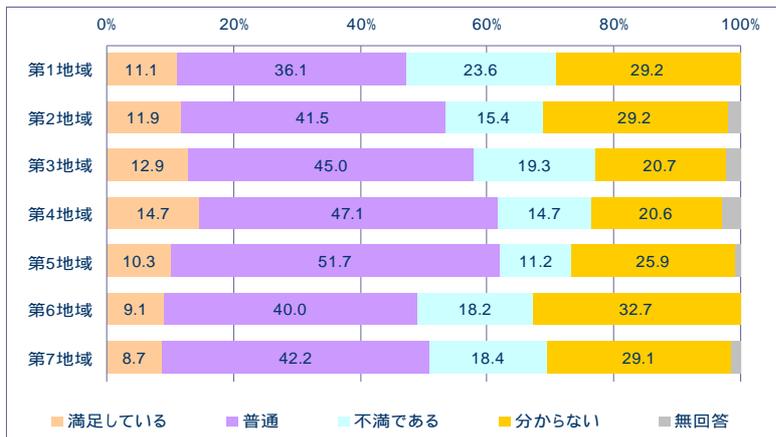
「分からない」が36.9パーセントとあり、取り組みが伝わっていない側面が見られる。

具体的には、「どんな地域交流のイベントがあるか情報がない」「どんな取り組みをしているかわからない」「地域コミュニティに参加するきっかけをつくってほしい」などの意見が寄せられている。

問 21 健康や福祉に関する施設等のサービス



地域別



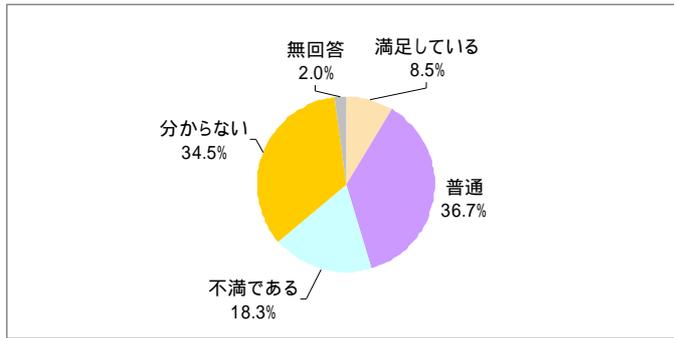
問 21 日常安心して暮らすための健康や福祉に関する施設（例えば：医療機関や高齢者の方向けの施設）等のサービスの内容やサービスの受けやすさについて、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。(1つだけ)

「満足」と「普通」合わせて54.0パーセントとなっている。「分からない」との回答が27.5パーセントと多くなっている。

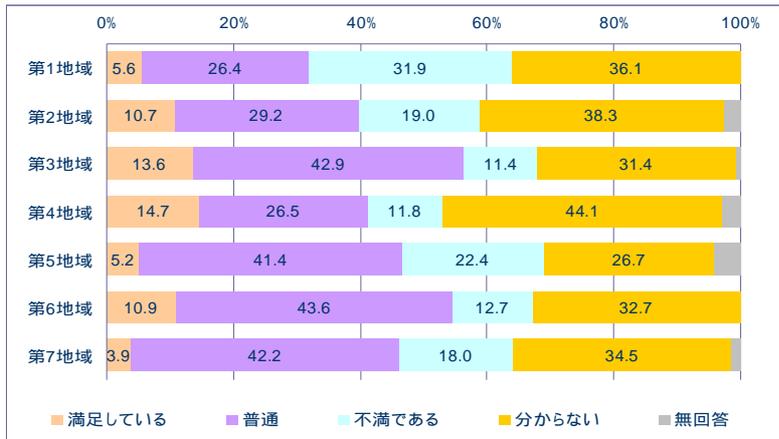
具体的には、「医療・福祉サービスが不十分」「高齢者向け施設が少ない」などの意見が寄せられている。

また、「老人も子どもも住みやすいまちにしてほしい」との要望もあった。

問22 安心して子育てをするための環境



地域別

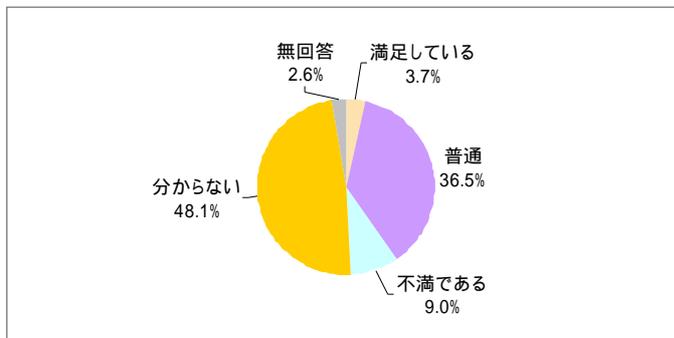


問22 安心して子育てをするための環境（例えば：保育に関する施設やサービス、こどもの為の遊び場がある）等について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

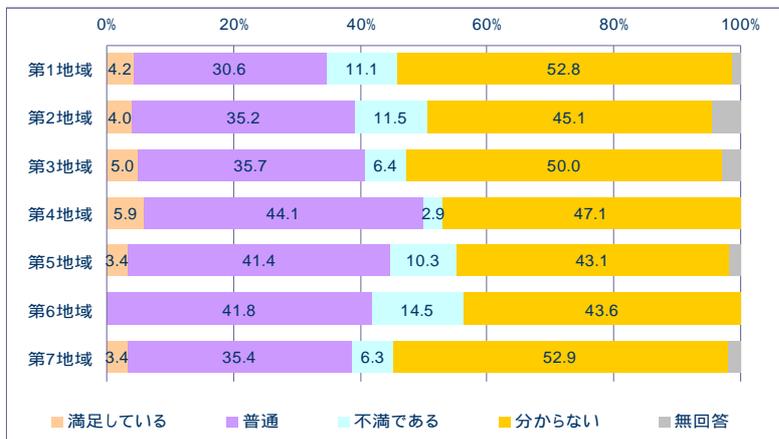
「分からない」との回答が35パーセントあるが、「子育て」に関する設問のため、対象が限られるためと考えられる。

具体的には、「保育園が不足している」「子どもの遊び場が少ない」などの意見が寄せられている。

問23 住まいに関する区の支援



地域別



問23 ライフスタイルの変化や居住ニーズに対応した住まいに関する情報提供や、住宅の改修や住み替え、また住宅の維持・管理や更新に対する支援への区の施策について、あなたの考えに近いものを選択肢の中から選び、番号をつけてください。（1つだけ）

「分からない」とする回答者が多く、取り組みの認知度が低いと考えられる。

具体的には、「どんな対策をしているのかわからない」「どこにいけば情報がわかるのか教えてほしい」などの意見が寄せられている。支援施策の充実を望む声もあった。

<p>問 24 その他、要望等</p> <p>問 24 その他、練馬区のみちやまちづくりに関する要望等がございましたらお書き下さい。(自由記入欄)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問 1 ~ 問 23 の自由回答と同じ傾向の意見が多く見られたが、それ以外の意見は以下の様に大別することができる。 1 . 都市計画マスタープランについて 2 . 市街地環境について 3 . 区政への要望 4 . 広報、情報提供について 5 . マナーについて 6 . 個別要望 7 . 総合的意見 8 . 当アンケートについて 9 . その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画マスタープランについては、「計画の内容を知らなかった」「地域事情を考慮して全体プランを検討してほしい」などの意見が寄せられている。 ・ 市街地環境については「住みやすい」という意見が比較的多く見られるなか、駅周辺整備や鉄道の高架化、都市計画道路の整備、街の美化の必要性に関する意見が寄せられている。 ・ 区政への要望としては、ハード（都市整備など）とソフト（福祉、子育て支援など）をバランスよく進めること、安全・安心で住みやすいまちづくりを進めてほしいなどの意見が寄せられている。 ・ 広報・情報提供については、様々な手段で広く情報を知らせてほしいという意見が多く見られた。 ・ マナーについては、ポイ捨て、落書き、夜間騒乱、迷惑駐輪・駐車、歩きタバコなどを注意してほしいという意見が多く見られた。 ・ 当アンケートについては、「区がどんな施策をしているか知らないでアンケートの質問内容が分からなかった」「都市計画マスタープランの内容も合わせて送付してほしい」「アンケート結果を十分に生かしてほしい」などの意見が寄せられている。
---	---